

府立中津支援学校 令和2年度「学校運営協議会」議事録（第3回）

日時	令和3年1月29日（金） 10:00～12:00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	川田 和子	大和大学 准教授	奥井 光司	校長
	田中 博之	大阪整肢学院 院長	山 寄 夏生	教頭
	中塚 磨由美	大阪新梅田シティライオンズクラブ	水迫 英紀	事務長
	花咲 典之	中津連合振興町会会長	川村 弘之	首席
	米田 秀	ワークセンター中津所長	入福 濱 光	首席
			岩本 真喜子	自立活動部長
			東山 未侑	自立活動部
傍聴人			矢田 秀人	進路指導部長
おもなテーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度学校経営計画の評価について</li> <li>・ 学校教育自己診断の結果と分析について</li> <li>・ 令和3年度学校経営計画（案）について</li> <li>・ 自立活動の取り組みについて</li> <li>・ 進路指導の取り組みについて</li> </ul>			
協議内容の概略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育自己診断の分析結果とともに、令和2年度学校経営計画の評価について協議が行われ、その反省を踏まえ、令和3年度学校経営計画（案）を提案。</li> <li>・ 自立活動の取り組みでは、大阪整肢学院との合同自立活動について説明。</li> <li>・ 進路指導部より、卒業後の進路先や校内での取り組みについて説明。</li> </ul>			
提言内容・改善方策	<p>意見・提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内独自指標について、文書作成に関するもの4指標、清掃技能に関する1指標を設定したのは、今後のキャリア形成にとって素晴らしいことだと思う。今後も生徒の実態を考慮して、指標を作成してほしい。</li> <li>・ 学校教育自己診断アンケート（以下自己診断）の回答時期が、新型コロナウイルス感染症による対策が重なったため、大阪整肢学院（以下整肢学院）の回答数が例年より少なかった。次年度は回答数が上がるよう院長としても努力したい。</li> <li>・ 地域でも防災は重要だと考え、防災士1名を養成しており、今後増やしていきたいと考えている。学校も増やしていただければと思う。その上で地域と学校が連携していただければと思う。</li> <li>・ 今年度は整肢学院職員からの学校教育自己診断への評価が上昇している。学校と整肢学院が、合同自立活動や研修会などの取り組みで連携を取られていたのがよく理解できる。</li> <li>・ 自己診断で教職員からの学校経営に関して、教職員の声が吸い上げられていないという点が気になる。意見を吸い上げる機会や場を設ける等して、教職員の学校経営への参画の意識を高めてほしい。</li> <li>・ 今回の作品展では作品がすばらしく、買いたいと思う作品も多かった。</li> <li>・ 今年度創設された自立活動部が整肢学院と計画通り連携して実践できていることは素晴らしいかった。</li> <li>・ 本人、保護者、学院が納得できる卒業後の進路先を決定できたのは日頃の教育の成果であり、素晴らしいと思った。</li> <li>・ 高等部に進学後は就職や福祉事業所への進路も関係してくるが、自分の思いを話せる先生がいるが100%で、将来を考えたことがある生徒も91%。一番大事なところをサポートされている点が大変良かった。</li> </ul>			